

第5学年 図画工作科 学習指導計画

■題材名 5年 「ね～むロード☆つながる' 36」

■めあて

○関心・意欲・態度・・・文字を変形したり色を使ったりしながら、絵を表していくことに関心を持ち、取り組むことができる。

○発想や構想の能力・・・文字からイメージを広げ、形や色を工夫することができる。

○創造的な技能・・・表したいイメージに合わせて用具を工夫して絵に表したり、用具を正しく使ったりする。

○鑑賞・・・活動の過程で友だちと見合い、表現の意図や工夫について話し合ったり、完成作品について感じたことを伝え合ったりすることができる。

○人権教育の視点

- ・鑑賞活動を通して、互いの表現や工夫を認め合う態度を養う。
- ・ひとりひとりの作品をつなぎ合わせて一つの大きな作品を完成させることで連帯の意識を深める。

■指導計画

	時	学習活動
第1次	1・2	『名前を工夫してデザインしよう』(5/18) ○工夫して自分の名前をデザインする
第2次	3・4 5・6 7・8	『グラデーション技法で色をぬろう』 ○グラデーションの練習(6/1) ○グラデーションでぬる、ポスカで模様をつける(6/8) (6/15)
第3次	9	『36枚をつなげよう』(6/22) ○ひとりひとりの作品をつないで一枚の絵(大きな道)をつくる ○交流し、感想を言い合う(鑑賞)